

事業評価書

補助事業名	新田原飛行場関連公共用施設 (環境衛生施設：三納代地区街灯改修設置事業) 整備事業						
補助事業者名	新富町長						
実施場所	宮崎県児湯郡新富町大字三納代 地内						
補助事業の目的	昭和58年度、特定防衛施設周辺整備事業において、三納代地区内に街灯を設置。設置後約30年が経過したことにより、電灯及びポール等の老朽化が著しく、危険なため早急な改善が望まれていることから、当該工事に係る工事を実施したものである。 調整交付金事業で工事を実施することにより、周辺環境の改善及び安心安全な地域づくりを図るものである。						
補助事業の内容	街灯設置(42箇所)						
補助事業の始期及び終期	平成25年度～平成26年度						
事業費及び交付金額		25年度 (26年度 ～繰越)					計
	事業費	円 14,538,000	円	円	円	円	円 14,538,000
	交付金額	12,000,000					12,000,000
補助事業の成果及び評価	街灯を整備したことにより、地域住民等からは「街灯の明るさで安心安全な生活ができる」との意見が寄せられており、地域住民の生活環境の改善に寄与することができた。						
事業の改善策及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注：事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	新田原飛行場関連公共施設(スポーツ又はレクリエーションに関する施設:新富町体育館耐震補強改修工事)整備事業						
補助事業者名	新富町長						
実施場所	宮崎県児湯郡新富町大字上富田7485番地4						
補助事業の成果の目標	本体育館は広域火災や津波等により大規模な避難が必要な場合の第2次避難場所として指定されている。本体育館は建設から40年と老朽化しており、また、耐震性能に不足している部分があるため、避難時の安全確保が出来ない状況にある。このため耐震補強改修工事を行い、耐震性及び経年による老朽化の改善を図り、町民の安心安全を確保する。						
補助事業の内容	耐震補強改修工事 S+RC2階建 A=2, 987㎡						
補助事業の始期及び終期	平成26年度						
事業費及び交付金額		26年度					計
	事業費	円 23,514,800	円	円	円	円	円 23,514,800
	交付金額	21,000,000					21,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	改修により体育館の耐震性が改善され、体育館利用者へアンケートを実施したところ、「安心して利用できる」との意見が寄せられており、地域住民の生活環境の改善に寄与することができた。周知については工事施工時に設置する工事看板に特定防衛施設周辺整備調整交付金事業であることを明記した。						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

- 注:1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額(交付金・市町村費等・その他・運用益・計)、基金処分額及び基金残額についても記載すること。
 2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	新田原飛行場関連公共用施設（交通施設：仲伏地区排水路）整備事業						
補助事業者名	新富町長						
実施場所	新富町大字日置						
補助事業の成果の目標	当該路線は、地域住民の重要な生活道路であるが、側溝が布設されていないため排水が出来ず、雨水が路面に滞留し、歩行者及び車両の通行に支障をきたして居る。また、降雨時に道路から住宅地内への溢水がみられ、沿線住民から苦情が寄せられている。このため、排水路整備工事を実施し、排水状況の改善及び地域住民の生活基盤の整備を図る。						
補助事業の内容	排水路整備工事 延長L=526.2m						
補助事業の始期及び終期	平成24年度～平成26年度						
事業費及び交付金額		24年度	25年度	26年度			計
	事業費	円 10,699,000	円 9,498,000	円 12,980,000	円		円 33,177,000
	交付金額	10,000,000	9,000,000	12,960,000			31,960,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	全区間の工事が完了となり排水状況が改善し、地域住民へヒアリングを実施したところ「排水路が整備されたことにより、雨水の路面への滞留が解消された」との意見が寄せられ、地域住民の生活環境の改善に寄与することが出来た。また、工事施工時に設置する工事看板に特定防衛施設周辺整備調整交付金事業であることを明記し周知を行った。						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分別及び基金残額についても記載すること。
2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	新田原飛行場関連公共用施設（消防に関する施設：第2部消防機械倉庫）整備事業						
補助事業者名	新富町長						
実施場所	新富町大字新田 地内						
補助事業の成果の目標	第2部消防機械倉庫は、昭和51年(築38年)に建設され、消防団第2部の活動拠点として利用されている。しかし、錆びや腐食などが発生するなど施設の老朽化による不具合の発生、且つ、団員の駐車場が狭く、消防機械倉庫から離れた駐車場を利用しているなど、一刻を争う火災等緊急時の活動に支障が出ている状況である。また、当該施設位置は洪水による浸水区域内であり、洪水時には冠水する恐れがある。このため、消防機械倉庫を浸水区域外に移転新築し、駐車スペースや消火訓練スペースを整備し、消防団がより活動しやすい施設として、また防災備蓄倉庫等を備えた防災活動の拠点として整備し、地区住民の安心安全を確保する。						
補助事業の内容	第2部消防機械倉庫建設 鉄骨造平屋建 A=170.25㎡						
補助事業の始期及び終期	平成26年度						
事業費及び交付金額		26年度	年度	年度	年度	年度	計
	事業費	円 46,636,200	円	円	円	円	円 46,636,200
	交付金額	45,179,000					45,179,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	消防第2部団員へアンケートを実施したところ「消防車両の出入りがしやすくなったや詰所の機能が向上した等」肯定的意見が寄せられ、消防力の強化に寄与することができた。また、工事期間中、工事看板に「特定防衛施設周辺整備調整交付金事業」である旨を記載し、消防機械倉庫に「特定防衛施設周辺整備調整交付金事業」で整備した旨を周知した。						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額(交付金・市町村費等・その他・運用益・計)、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	新田原飛行場関連公共用施設(スポーツ又はレクリエーションに関する施設: 勤労者体育センター床面整備改修工事)整備事業						
補助事業者名	新富町長						
実施場所	宮崎県児湯郡新富町大字新田17043番地1						
補助事業の成果の目標	本体育センターは昭和62年に建設され、建設から27年が経過し、床材の変形・割れが生じているため利用時に滑り込み等を行った場合には、怪我の恐れ等危険であるため、体育センター利用者の利便性の低下、安全性の確保が出来ていない状況である。このため、体育センター内の床面整備改修工事を行う事で利用者の安全性の確保と利便性の向上、さらには町民スポーツの振興を図り、町民の安心安全を確保する。						
補助事業の内容	床面整備改修工事 弾性床上貼A=828.3㎡						
補助事業の始期及び終期	平成26年度						
事業費及び交付金額		26年度					計
	事業費	円 21,897,300	円	円	円	円	円 21,897,300
	交付金額	21,000,000					21,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	改修により床面の状態が改善され、体育館利用者等からは安心して利用できるとの意見が寄せられており、地域住民の生活環境の改善に寄与することができた。なお、周知については工事施工時に設置する工事看板に特定防衛施設周辺整備調整交付金事業であることを明記し周知を行った。						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注:1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額(交付金・市町村費等・その他・運用益・計)、基金処分額及び基金残額についても記載すること。
2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	新田原飛行場関連公共用施設（交通施設：三納代～北原牧線）整備事業					
補助事業者名	新富町長					
実施場所	新富町大字日置					
補助事業の成果の目標	町道三納代～北原牧線は国道10号線と主要地方道宮崎高鍋線を結ぶ道路であり交通量が多く、沿線に養鶏施設があるため運搬に伴う大型車両の通行も頻繁である。このため路面の不陸やひび割れが多数発生しており、不陸部分の段差でタイヤがパンクするなどの事故も発生しており、車両の通行に支障を来している。 このため、舗装補修工事を実施し、交通状況の改善及び地域住民の生活基盤の整備を図る。					
補助事業の内容	舗装補修工事 延長L=850m 幅員W=5.0m					
補助事業の始期及び終期	平成25年度～平成26年度					
事業費及び交付金額		25年度	26年度			計
	事業費	円 19,119,000	円 16,814,500	円	円	円 35,933,500
	交付金額	18,223,000	16,500,000			34,723,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	全区間の工事が完了となり、実際に車両を通行させ検証したところスムーズに通行することができ、地域住民へアンケートを実施したところ「路面の段差が解消され安心して通行できるようになった」との意見が寄せられ、地域住民の生活環境の改善に寄与することが出来た。また、工事施工時に設置する工事看板に特定防衛施設周辺整備調整交付金事業であることを明記し周知を行った。					
事業の改善措置及び今後の対応	無					
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無					

- 注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分別及び基金残額についても記載すること。
2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	新田原飛行場関連特定事業（通信に関する事業：新富町有線ラジオ放送施設運営基金）						
補助事業者名	新富町長						
実施場所	新富町						
補助事業の成果の目標	新富町の有線ラジオ放送施設は、迅速かつ正確に災害等の緊急情報や行政情報の提供を行うために整備を行った。 このため、新富町有線ラジオ放送施設運営基金を設置し、有線ラジオ放送施設の維持運営費用に充てることで、有線ラジオ放送施設の安定運用を目標とする。						
補助事業の内容	有線ラジオ放送施設の維持運営のためのIP告知システム運用、保守、サーバハウジング料、IP通信網サービス利用料						
補助事業の始期及び終期	平成26年度～平成35年度						
事業費及び交付金額		26年度					計
		円	円	円	円	円	円
	基金造成額	53,514,000					53,514,000
	市町村費等						0
	運用益	1,395					1,395
	計	53,515,395					53,515,395
	基金処分数	8,862,000					8,862,000
基金残額	44,653,395					44,653,395	
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	作業記録により、IP告知システムの適切な保守管理や、戸別の機器の故障対応等を迅速で適切に行ったことを確認した。これにより、施設の安定運用が図られた。地域住民への周知については町ホームページ及び広報誌にて実施。						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分数及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。